

教育通信

24年度 第2号
通巻1800号発行所:
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355全教職員
配布
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



憲法施行77周年県民のつどい

事実を知り、行動を！

300人超！

4月28日(日)、高知市のかるぼとで『憲法施行77周年県民のつどい』「4・28憲法集会」が開かれました。会場で約300名の参加がありました。県内各地の7箇所にオンライン下の会場も設けら

れ、そこでもかなりの数の参加者がありました。本集会は、①岸田首相が7兆9千億円に及ぶ防衛費を含む24年度予算案を強行し、②「非核三原則」と並んで「国是」とされてきた武器輸出禁止を投げ捨て、次期戦闘機など殺傷兵器の輸出解禁まで閣議決定をし、③国民の知る権利が制限され、戦争ができる国にするための「重要経済安保情報保護・活用法案」を強行されようとすると政治状況の中で行われまし

た。講師に法政大学前総長の田中優子さんをお招きしました。演題は、『歴史から学ぶ「戦争をしない国づくり」』でした。田中さんは、まず、江戸時代を定義づけられました。「経済」思想をもとに1560年代に完成したグローバルリーゼンションに、独自に対応した時代であり、約250年間、内戦も国外との戦争も回避した時代でもあったこと。循環システムの整備により、持続可能な社会を作り上げた

時代であったことをお話されました。そして、「周辺諸国との外交関係、ヨーロッパとの通商関係を樹立し、世界の情報を得ることで、輸入依存から国産技術へ転換し、大量の職人を輩出し『ものづくり

日本』を創造した時代であった」と指摘されました。ご講演の後半では選択的夫婦別姓など多様性が認められず人権が守られないまま、戦争をする国づくりに進んでいる今の日本の状況と、江戸時代を対比させながら、人権や平和を守る日本国憲法の意義について述べられました。田中さんは、自民党がつくった改憲案が国民の人権などを守らないことにもふれ、「今のままでは日本各地に沖繩



と同じようにミサイルが配置され、軍事基地化してしまいませんか」と警鐘を鳴らされます。そして「私たちが直接止めることができなくても、何が起きているのかを知る目撃者になれます。そう考えれば、何が起きているのかを知りたくなります」と言われました。そして最後に「事実を知り、戦争を回避するために草の根のネットワークを広げ、行動していきましよう」と呼びかけられました。

多くの犠牲者を出した戦争の反省から生まれた、戦争放棄など世界に誇る内容を持つ日本国憲法を今こそ活かしていかねばなりません。戦争を回避するために私たち一人ひとりが動くことの大切さを知ることが出来ました。そして、私たちのこれからの運動に意欲を持つことができた集会となりました。

(県教組・細木久義)

お城下

教員には4%の教職調整額が支給。約50年前の給特法制定時に、人材確保のためにもその当時の

平均の月残業時間8時間(！)に似合う分を支給するとしたもの▼もちろん「4%で残業はいくらでもOK」という訳ではありません。残業は限定4項目(非常災害時など緊急かつやむを得ない場合)以外は命ずることが出来ないというのも大前提▼ところが、今「上限の45時間」どころか、全教の2022年調査では、平均で80時間の過労死ライン以上の残業が存在▼この問題に対して、中央教育審議会と文科省は、教職員定数はそのまま「教職調整額を10%に」という対策を立案中。制定当時の計算でいえば、20時間分の残業手当で現実の長時間過密労働を我慢しろか▼違う！教職員定数を増やして、一人の仕事量を減らし、勤務時間内に仕事が終わらない現実を改善せよというのが要求の根本。理解しろ！(和)

②二次対策講座（面接練習）は7月20日（土）に予定しています。詳細は、採用審査会場でお配りするチラシや高知県教組HPで紹介します。ぜひご参加下さい。

！実施

「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」でした。その下にサブスローガンとして「教員不足の解消、教育の無償化実現、少人数学級の拡充と教職員増を」など34もの訴えが並んでいます。

そうした要求を掲げて高知県中央メーデーに集まったのは、主催者発表で約500人。高知県教組・高教組は、退職者も含めて約20名。各団体作成のプラカードを掲げて、各団体からの訴えなどの後、帯屋町や電車通りなどをデモ行進しました。

「あれ?」と思ったことを運動に! 措置要求から一歩前進へ

週休日(土日)に、

私立校の入試や体験入学・高校説明会などの引率(出席確認等も含む)で行ったことはありませんか。それらの代休は取れましたか。例えば、入試の受け付け時点の出席確認だけならば、丸1日はもちろん半日もかからずに、短時間で済む場合もあります。それゆえに、公務ではなく、事実上のボランティアで行われている場合もあります。そうすると、旅費もなく、途中で事故などがあっても補償もありませ

ん。こうしたことに疑問を持ち、これらの業務を正式な職務命令が出される業務にして欲しいと高知県人事委員会(以下、人事委)に措置要求(*注)をした高知県教組の組合員がいます。高知県教組ではこの組合員から相談を受けながら、この措置要求に関して弁護士による相談を受けたり情報交換をしたりしてきました。本年1月24日に、この措置要求に対して、人事委が判定を下しました。

注 措置要求とは

「地方公務員法第46条 職員は、給与、勤務時間その他の勤務条件に關し、人事委員会又は公平委員会に對して、地方公共団体の当局により適当な措置が執られるべきことを要求することができる。」に基づくもので、勤務条件・勤務実態に關して「これはおかしい。是正してほしい」と、個人で人事委員会に訴え出るものです。地方公務員全員に認められている権利です。

その判定の主な内容は、「週休日(土日)に現地への生徒の引率や可否の連絡等の業務の事務作業(以下「高校入試関連業務」という。)」に關し、やむを得ず勤務を命じざるを得ない業務と判断する場合には、当該高校入試関連業務に従事する時間が4時間に満たない場合であっても他の用務を加え、週休日の振替等(週休日の振替及び半日勤務時間の割振り変更)を行い、出張が伴うのであれば旅行命令を行う措置を講ずる必要がある」と認めるものでした。

このような運用がされれば、「引率等に規定の旅費が支給されない」とか、「(途中で)交通事故等にあつたとしても公務災害補償制度の対象にならない」とか、「生徒確認等を使うため、生徒の名簿や連絡先を持参した場合、教員個人が勝手に学校外に情報を持ち出したという扱いになる」とかいう問題点はなくなります。

高知市教育委員会は、措置要求の審理が行われている最中の本年1月の校長会で、口頭で、週休日の高校入試関連業務について勤務日の振替が適切に行われるようにと説明をしています。「適切な」運用を望みたいです。

教職員のための自動車保険は

全教自動車保険

教職員と家族を守って34年

WEB でかんたん
見積依頼

右のQRコードから見積り依頼を→



お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

あなたも参加しませんか?

新鮮な学びで、夏の初めにリフレッシュを!

第48回教育講座

7月27日(土)

午前: 教科・課題別分科会
午後: 記念講演・平井美津子さん
(大阪府中学校教員)

参加費: (全日程) 2500円(午前・午後のみ) 1500円
会場: 県民文化ホール多目的室

*分科会紹介などの詳細は、6月号に同封する案内チラシでお知らせします。
なお、詳細が決まり次第、高知県教組HPでも紹介します。



【タテのカギ】

1. 梅酢に漬けて赤くしたショウガ

2. 2016年から身体測定項目から削除

3. 桜のお風呂も良いけど、露天の〇〇〇も良いね。

4. くつつきワードむ〇〇、こ〇〇たい、〇〇よう

【横のカギ】

1. 七福神の中の唯一の女神

5. ピンクレディー

7. 世知辛い〇〇〇

8. コーヒーの品種の一つ。出荷されたイエメンの港名が由来。

11. 読めるかな? 「現」

12. 首筋

13. イーゼル。日本語で言う?

14. 今年は5月5日。かぎを解いて二重枠に入る3文字で、高知県内を流れる1・2級河川の名前(〇〇川、解答には川をつけてね)を作ってください。①解答②郵便番号・住所③氏名(匿名希望の方はべ

【みなさんの声より】

(3月中にいただいたお手紙も多いので、まずそちらをご紹介します。)

ケロちゃんさん (東津野中) 桜さん (鴨田小)

【みなさんの声より】

高知県内を流れる1・2級河川②

1		2	3	4	
		5			
6	7				8
9			10	11	
12					
13			14		

の作曲、サイフィンボンド〇〇〇に抱えて

6. 端午の節句に〇〇〇湯に入る風習、知ってる?

9. 反物で、並幅を4枚縫い合わせたもの。

10. 学校の〇〇〇は歩きましょう。

【3月号の当選者】

「やすちよう(夜須町)」でした。抽選の結果、次の3名の方が当選されました。おめでとうござ

○去年授業で植えた「インカのめざめ」の取り残しから、芽が出て大きく育っています。

○春は別れの季節、卒業式を終えて、ホッとする間もなく公立高校の合格発表。全員合格の知らせを受けてようやく一息つくと同時に、三年生を送り出した寂しさが押し寄せてきています。④4月からの新たな出会いに向けて、しばらく好きなことに打ち込んで、英気を養いたいと思っています。

○3月は異動の季節ですね。退職される方々は本当にお疲れ様でした。異動される先生方、新しい職場での活躍をお祈りしています。

○教員不足がまだまだ改善されない中で、仕事のデジタル化に取り組んでいます。ただアナログでも大事な部分はしっかりとしていきたいものです。例えば、卒業式の時の祝電などを見ると嬉しい気持ちになります。

○私の卒業した小学校は廃校になって校舎も消え、地元は大合併により名前が変わりました。無くなるもの、残すものの分類は難しいですが、残せるものは極力残してほしいものです。(以下、春休みから4月にいただいたものです。)

○春休みが始まりましたね。日頃読めない本や教育書を読んで、スタートダッシュです。

○教育通信を読んで、県教組など、高知県をより良くするための会合で、具体的にどのような改善策を話し合っているのかということが分かりました。「みなさんの声」は、リアルな声が聞こえてきて楽しいコーナーですね。各学校独自の取り組みの紹介などの掲載があれば、より読み応えのある通信になるのではないかと思います。

○授業もタブレット化が進み、定年間の教員はワタクシも含めて戦々恐々。改めて採用試験の頃を

思い出し、教育基本法第9条の一説にある「絶えず『研究と修養』に励み」というフレーズが頭を駆け巡りました。

○今春、統廃合先の学校に、子ども達とともに異動。採用から2年目から6年間勤務した学校への再赴任で、保護者名簿の中に見覚えある名前を見つけては、二世の姿に当時の教職の面影を重ね、懐かしさがこみ上げてきます。慣れない環境にまだまだ余裕ゼロです。でも、子どもたちの無邪気な姿に、大きなエネルギーを！子どもたちがいるから頑張れるのだと、その魅力も再認識する日々。

○目標設定シートの評価を開示希望していたが、開示されずに年度が変わった。どうなっているのだろうか。

メールはこちら

